

長期持続型殺虫殺菌剤

ファーストオウゼ[®]リディア[®]

粒剤

共に、
未来を
切り拓こう。

は種と同時にいもち病・害虫を防除！

新規殺虫成分(フルピリミン)と、信頼と実績の殺菌剤(プロベナゾール)を配合。

いもち病・初期害虫を始め、ウンカ類、チョウ目害虫、イナゴ類などに安定した高い効果を発揮。



殺虫剤分類	4F
殺菌剤分類	P2

長期持続型殺虫殺菌剤

ファーストオリゼリディア[®] 粒剤

有効成分：フルピリミン…2.0% プロベナゾール…20.0%
人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

- 1 期待の新規殺虫成分「フルピリミン」と、信頼と実績の殺菌成分「プロベナゾール」を配合**
2つの成分の働きにより、病気と害虫を同時ブロック。いもち病を始め、水稻初期害虫、ウンカ類、チョウ目害虫、イナゴ類などの害虫に高い効果を発揮!
- 2 は種前・は種時の専用剤!**
「は種前(床土混和)」または「は種時(覆土前)」処理に最適な製剤で、長期間にわたって効果を示します。
- 3 ミツバチを始めとする有用昆虫などに影響が小さい!!**
ミツバチのほか、ウツキコモリグモ、ヤゴ等への影響はほとんどありません。

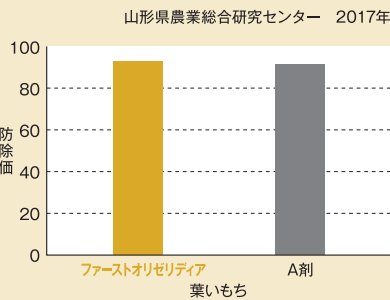
適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルピリミンを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ イナゴ類 フタオビコヤガ ニカメイチュウ	育苗箱 (30×60×3cm、) 使用土壌約5ℓ 1箱当り50g	は種前	1回	育苗箱の床土に均一に混和する。	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)
			は種時 (覆土前)		育苗箱の床土に均一に散布する。		

試験成績

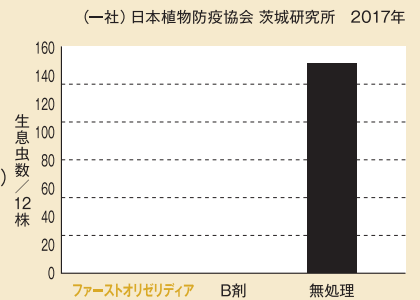
●いもち病

品 種：ササニシキ
播 種 日：4月20日
移 植 日：5月16日
処 理 日：4月19日(床土混和)
発生状況：葉いもち(少発生)
(無処理の病斑数は1.42個/株)
調 査 日：7月24日(葉いもち)
調査方法：
葉いもちは、各区中央部40株について株当りの病斑数を調査。



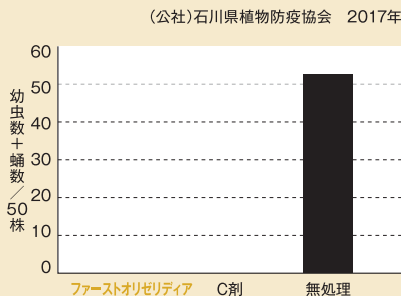
●イネミズゾウムシ

品 種：コシヒカリ
播 種 日：4月14日
移 植 日：5月10日
処 理 日：4月14日(床土散布)
発生状況：多発生
調 査 日：6月21日(田植41日後)
調査方法：
根圏部位に生息している幼虫・蛹の数を調査。



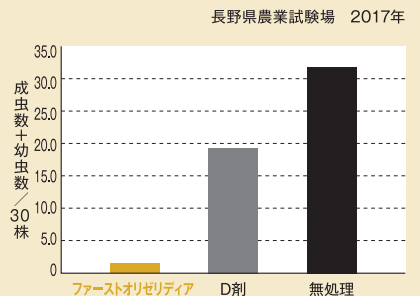
●イネドロオウムシ

品 種：キヌヒカリ
播 種 日：4月7日
移 植 日：5月8日
処 理 日：4月7日(床土散布)
発生状況：少発生
調 査 日：6月5日
調査方法：
各区50株の3ヶ所について幼虫数と蛹数を調査。



●ヒメトビウンカ

品 種：あきたこまち
播 種 日：6月6日
移 植 日：6月23日
処 理 日：6月6日(床土散布)
発生状況：少発生
調 査 日：8月15日(移植53日後)
調査方法：
1区30株の3区で粘着板での払落し法で調査。



ファーストオリゼリディア粒剤は各病害虫に対し、高い防除効果が認められた。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋・空容器は圃場や用水路などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ/ご注文は